



糸川 昌成

いとかわ まさなり

東京都精神医学総合研究所統合失調症プロジェクトプロジェクトリーダー
1961年6月21日東京都生まれ。
1979年日本大学第二高等学校卒業。89年埼玉医科大学卒業、東京医科歯科大学精神神経科研修医（融道男教授）。90年福島県四倉病院精神科常勤医、91年筑波大学人類遺伝学教室研究生（有波忠雄助教授）、93年東京医科歯科大学精神神経科医員（融道男教授）、94年東京大学脳研究施設生化学部門研究生（芳賀達也教授）、96年Molecular Neurobiology Branch, National Institute on Drug Abuse, National Institutes of Health, Visiting Fellow（George Uhl教授）。99年理化学研究所分子精神科学研究チーム研究員（吉川武男チームリーダー）、2001年東京都精神医学総合研究所精神分裂病部門部門長（副参事）、04年東京都精神医学総合研究所統合失調症プロジェクトプロジェクトリーダー（副参事）を経て09年現職（参事）、精神疾患研究分野長。専門は精神医学、分子生物学、現在はカルボニルストレスに興味をもつ。1989年毛呂山会長賞（埼玉医科大学）、92年島崎・島蘭・高橋学術賞（東京医科歯科大学）を受賞、2008年都知事表彰（発明発見）。趣味は読書（村上春樹、司馬遼太郎など）、音楽鑑賞（クラシック、ジャズ、ロックなど）。

私は大学を卒業してから二年ほど医者として修行を積みました。研究を始めたのは卒業後三年目からです。以後十八年、研究室で実験するかたわら病院で診療も続けてきました。精神の病気はここを病むこととほぼ同じであると仮定して、精神の物質としての裏づけを脳に求めれば、脳の研究はここを知ることと一致するはずだと期待してきました。古生物学者がまず化石発掘におもむくように、あるいは、ガラパゴス遠征がダーウィンの進化論にひらめきを与えたように、私も脳とここを知りうる現場にこだわり臨床を続けてきたともいえます。

発見とは、まず見ることであり、気づくことであり、そして疑問をいだくことに始まります。そうした発見の瞬間について、本日は二つ紹介できればと思います。

統合失調症は脳の疾患

リチャード・ワーグナーは皆さんよくご存知の十九世紀のドイツの音楽家です(図1)。当時、作曲家は自分で食べていけないので、ドイツのルートヴィヒ二世(図1)という若い王様がいろいろな資金を援助していました。この王様は芸術を愛しており、美しいノイシュヴァンシュタイン城をはじめ、ワーグナーのためにバイロイトという大きな音楽堂を建設したため、ついには国家財政が傾いてしまいました。あとになって、この王

様は精神疾患に蝕まれていたことがわかりました。徐々に正しく現実を検討する力を失っていったのです。

この王様をフォン・グッテンという精神科の先生が主治医となって診ていますが、ルートヴィヒII世の弟も同じような精神疾患にかかって一生お城に幽閉されていたという記録があります。

ある日、フォン・グッテンと王様は、お城の近くの湖で水死体で発見されます。そのことを当時、ドイツに留学中だった森鷗外は知ったようで、『うたかたの記』に、「岸辺の砂はやうやう粘土まじりの泥となりたるに、王の足は深く陥りて、あがき自由ならず」と、王様とフォン・グッテン博士がもみあいながら湖で溺れていく様を描いています。

当時、Schizophreniaという病名はまだありませんでしたが、おそらく国王の病はこれに該当したのではないかと考えられています。Schizophreniaは、かつて「精神分裂病」と翻訳されていました。しかし、精神を分裂するというネーミングが差別や偏見を助長すると考えられ、二〇〇二年から「統合失調症」という新しい病名にかわりました。

統合失調症を理解することは人間の存在の本質を理解すること

この統合失調症の主な症状は、陽性症状と呼ばれる幻覚と妄想です。誰もいないのに人の声が聞こえたり、妄想といって現実にはあり得ないことを信じたりします。大規模な組織につけ狙われているといった強い確信をもったりします。もう一つは、陰性症状といって、喜怒哀楽が低下したり、引きこもりといった症状です。この統合失調症は、精神の機能に不調をもたらす脳の病気です。

脳はほかの臓器と違って、進化の過程で特殊な系統発生をしています。ほかの臓器は一つ進化するごとに、その臓器の下位の分類での動物の臓器の特徴を捨てて新しい臓器へと進化していきます。たとえば、魚にあるエラは、両生類や鳥類ではなくなります。水鳥にあった水かきも哺乳類になると失われます。ところが、脳だけは下等な脳の上に高等な脳が重層的に重なるように進化してきました。ヒトの場合、高等な大脳の下に下



図1 ワーグナー(1813～1883)(左)とルートヴィヒII世(1845～1886)(右)